

日 本 史

(問 題)

2008年度

〈 H20021121 〉

注 意 事 項

1. 問題冊子は、試験開始の指示があるまで開かないこと。
2. 問題は2～8ページに記載されている。
3. 氏名をマーク解答用紙の所定欄（1カ所）に記入すること。
4. 解答はすべてマーク解答用紙の記入欄にHBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシ
でマークすること。
5. マーク欄ははっきり記入すること。また、訂正する場合は消し残しがないよう、消
ゴムでていねいによく消すこと（砂消しゴムは使用しないこと）。

マークする時	● 良い	○ 悪い	○ 悪い
マークを消す時	○ 良い	○ 悪い	○ 悪い

6. 問題冊子は持ち帰ること。

【日本史】

問題用紙5ページ III [史料4]

(誤) A は人の上に人を造らずと云へり。されば A より人を生ずるには、万人は万人皆同じ位にして、生れながら貴賤上下の差別なく、万物の霊たる身と心との働きを以て天地の間にあるよろづの物を^と資り、以て衣食住の用を達し、自由自在、互に人の妨げをなさずして各安楽にこの世を渡らしめ給ふの趣旨なり。

Ⓟ

(正) A は人の上に人を造らず、人の下に人を造らずと云へり。されば A より人を生ずるには、万人は万人皆同じ位にして、生れながら貴賤上下の差別なく、万物の霊たる身と心との働きを以て天地の間にあるよろづの物を^と資り、以て衣食住の用を達し、自由自在、互に人の妨げをなさずして各安楽にこの世を渡らしめ給ふの趣意なり。

【世界史】

問題用紙5ページ 問4 選択肢 エ

(誤) 独立派のクロムウェル率いると議会派軍が

Ⓟ

(正) 独立派のクロムウェル率いる議会派軍が

I 次の文章を読み、後の問に答えなさい。

現在知られている限り日本で鑄造された最古の貨幣は、7世紀後半の富本銭^aという銅銭である。708年には **A** から銅が献上されたことを契機として和同開珎が鑄造され、10世紀半ばの乾元大宝まで国家的な錢貨の発行が続いた。中世国家は独自の貨幣の鑄造を行わず^b、国内通貨として中国から輸入された銅銭が流通した。室町時代以降、年貢^dの代錢納が広まり、商業活動が盛んになると、錢貨の流通量は著しく増えたが、その数量が限られていたため、貨幣需要の増大とともに様々な問題が発生した。

関ヶ原の戦いに勝利した徳川家康は、金座・銀座^hにおいて全国的に通用する同じ規格の金・銀の貨幣を造らせた。その後、江戸幕府は江戸と近江坂本に錢座を設置して **B** を発行し、広く流通させた。こうして17世紀半ばごろまでには、これらの三貨が全国に普及するようになった。

〔問〕

1 下線部 a が、鑄造に関わる遺物とともに多数出土したのはどこか。一つ選べ。

ア 長屋王邸宅跡 イ 志苔館跡 ウ 荒神谷遺跡 エ 飛鳥池遺跡 オ 唐古遺跡

2 **A** に該当する国はどこか。一つ選べ。

ア 甲斐 イ 出雲 ウ 武蔵 エ 陸奥 オ 上野

3 下線部 b に関連して、『続日本紀』に次の記述がみえる。

又詔して曰く、夫れ錢の用たるは、財を通わして有無を貿易する所以なり。当今百姓、なお習俗に迷いて未だその理を解せず、僅かに売り買いするといえども、なお錢を蓄える者なし。その多少に随いて節級して位を授けん。

上の法令について説明した文として適切なものはどれか。二つ選べ。

ア この法令とともに、錢貨の偽造および偽造錢の使用を厳罰に処する旨が定められた。
イ この法令の影響により、調・庸の錢納化を望む地方を中心に錢貨の使用が広まった。
ウ 一定額の錢貨を蓄えるのみで、政府への納入を条件とせずに、位階を与えると定めた。
エ 和同開珎の発行から3年後、錢貨の流通をうながすため、この法令は廃止された。
オ 錢貨の流通を促進する目的で出され、錢貨の所有者に使い道を示すためのものであった。

4 下線部 c を鑄造した時の天皇の在位中に該当するものはどれか。一つ選べ。

ア 『後撰和歌集』の編纂 イ 昌泰の変 ウ 『延喜式』の撰進
エ 安和の変 オ 三善清行の意見封事十二箇条奏上

5 下線部 d に関連して、結果として実現しなかったといわれているが、乾坤通宝と称する錢貨の発行計画を立てた人物はだれか。一つ選べ。

ア 源実朝 イ 北条泰時 ウ 後醍醐天皇 エ 足利尊氏 オ 足利義満

6 下線部 e のうち、中世日本の流通貨幣の過半を占めていたのはどれか。一つ選べ。

ア 唐銭 イ 宋銭 ウ 元銭 エ 明銭 オ 清銭

- 7 下線部 f に関連し、この当時の貨幣流通について述べた文として誤っているものはどれか。一つ選べ。
- ア 粗悪な私鑄銭の受け取りを拒否する撰銭行為が円滑な流通を阻害した。
 イ この時期に新たに輸入された明銭の中で最も多く使用されたのは永楽通宝である。
 ウ 撰銭令によって、悪銭と良銭の混入比率を定めた場合もあった。
 エ 撰銭令によって、粗悪な私鑄銭については指定して流通を禁止した場合もあった。
 オ 室町幕府が初めて撰銭令を出したのは、足利義政の時代である。
- 8 下線部 g について説明した文として適切なものはどれか。一つ選べ。
- ア 主戦場となった関ヶ原は近江国の北東部にある。
 イ 豊臣恩顧の大名小西行長は、徳川家康に味方して東軍に属した。
 ウ 徳川秀忠は関ヶ原での合戦に参加できなかった。
 エ 西軍の盟主とされた毛利輝元は、戦後、長門一国に減封された。
 オ 当初西軍に属した小早川隆景は東軍に寝返った。
- 9 下線部 h にもっとも関係の深い人物はどれか。一つ選べ。
- ア 角倉了以 イ 末次平蔵 ウ 後藤祐乗 エ 後藤庄三郎 オ 末吉孫左衛門
- 10 B に該当するのはどれか。一つ選べ。
- ア 寛平大宝 イ 寛永通宝 ウ 慶長通宝 エ 文禄通宝 オ 天保通宝

II 次の文章を読み、後の問に答えなさい。なお文章には設問のない空欄もある。

天文年間にポルトガル人を乗せた倭寇の船が漂着して以来、日本にはさまざまな欧米人が来航した。それが日本の政治経済・社会に大きな影響を与えてきた。とくに日本の外交政策はそのつど大きく振り回されてきた。

江戸時代の天明・寛政年間は世界情勢が大きく変わってきた時期であり、欧米各国は産業革命の拡がりを背景に植民地争奪および貿易拡大に邁進まいしんし始めた。これに日本も巻き込まれることになるのである。

この時期、最初に接近してきたのは A である。それに対して、幕府はそれまでの定められた国以外とは新たな関係を持たないことを理由に通商を拒否した。また寛政8年には B 人が蝦夷地えぞに来航し、日本近海を測量する事件も起こった。その後もたびたび外国船が寄港したが、これらの通商要求をことごとく拒否した。

文化元年、信牌のりを携えて長崎に来航した C は、その帰途、軍人に示唆して、文化3年から翌年にかけて樺太、択捉島を攻撃させる事件を起こさせた。この事実を幕府は朝廷に報告したが、これは朝廷に、幕府の対外政策に介入する契機きかを与えることとなり、その後の政治に大きな意味を持った。

文化5年には B 船が長崎で D の商館員を人質にとって薪水、食糧を要求した。以後同国船は文化14年、文政元年、文政5年と3度浦賀うらがに来航したうえ、文政7年には常陸大津浜とつで漁民と交易を行う一方、薩摩領宝島たからで掠奪をするなどの事件も起こした。これに対して幕府は文政8年 E を出して外国船の撃退を命じた。この命令に従い、天保8年、浦賀奉行所うらがが来航した外国船を砲撃して退去させる事件が発生した。これについては幕府の打ち払い政策を厳しく批判する者が現れた。これに対して、幕府は幕政を批判した者たちを処罰した。

ところがこの翌年にアヘン戦争あへんせんそうが起こり、結果として清国が、上海など5港の開港、および香港の割譲を余儀なくされたとの情報が伝わるや、幕府は大きく政策を転換させ、 F を出して異国船への穏便な対応、薪水、食糧の供給などを指示するに至った。

〔問〕

- 1 下線部 a について、このときポルトガル人から鉄砲を買った人物はだれか。一つ選べ。
ア 文之玄昌 イ 織田信長 ウ 島津義久 エ 大村純忠 オ 種子島時堯
- 2 下線部 b に関連し、江戸幕府が発した鎖国令について誤っているものはどれか。一つ選べ。
ア 寛永十年令では、奉書船以外の海外渡航が禁止された。
イ 鎖国令は全部で4回発令された。
ウ 寛永十二年令では、日本人の海外渡航と海外居住者の帰国を全面的に禁止した。
エ 寛永十三年令では、ポルトガル人の子孫を追放した。
オ 寛永十六年令では、ポルトガル船の来航を全面的に禁止した。
- 3 **B** に該当する国はどこか。一つ選べ。
ア アメリカ イ ロシア ウ イスパニア エ イギリス オ フランス
- 4 下線部 e について適切なものはどれか。一つ選べ。
ア これをリーフデ号事件という。
イ これをフェートン号事件という。
ウ これをディアナ号事件という。
エ これをサスケハナ号事件という。
オ これをモリソン号事件という。
- 5 下線部 d について誤っているものはどれか。一つ選べ。
ア この船は漂流民の返還と通商を求めて来航した。
イ これは徳川家慶が将軍になった年に起こった。
ウ この船はアメリカ船と伝えられたが、実はイギリス船であった。
エ この船は相模の浦賀、薩摩の山川で砲撃を受けた。
オ オランダ商館長はその外国船籍を誤って報告した。
- 6 **C** に該当する人物はだれか。一つ選べ。
ア ブッチャーチン イ ブローニン ウ ゴローニン エ ラクスマン オ レザノフ
- 7 下線部 e について、処罰された人物たちの著書はどれか。二つ選べ。
ア 戊戌夢物語 イ 漂巽紀略 ウ 華夷通商考 エ 北槎聞略 オ 慎機論
- 8 **F** を発令した時の老中はだれか。一つ選べ。
ア 水野忠邦 イ 阿部正弘 ウ 安藤信正 エ 久世広周 オ 井伊直弼
- 9 下線部 f に関連し、この当時の出来事として誤っているものはどれか。一つ選べ。
ア 幕府はオランダ風説書を通じていち早くアヘン戦争の情報を得た。
イ 將軍家定はオランダ国王から開国の勧告を受けた。
ウ 幕府は江戸・大坂支配を強化するために上知令を出した。
エ 薪水給与令を文化3年のものに戻した。
オ 江戸湾防備のため、川越藩と忍藩おしに警備を命じた。

10 著者・著書名を年代順に並べた組み合わせとして適切なものはどれか。一つ選べ。

- ア 志筑忠雄『鎖国論』→杉田玄白『蘭学事始』→シーボルト『日本動物誌』→ケンペル『日本誌』
- イ シーボルト『日本動物誌』→志筑忠雄『鎖国論』→ケンペル『日本誌』→杉田玄白『蘭学事始』
- ウ 杉田玄白『蘭学事始』→ケンペル『日本誌』→志筑忠雄『鎖国論』→シーボルト『日本動物誌』
- エ ケンペル『日本誌』→志筑忠雄『鎖国論』→杉田玄白『蘭学事始』→シーボルト『日本動物誌』
- オ 志筑忠雄『鎖国論』→ケンペル『日本誌』→シーボルト『日本動物誌』→杉田玄白『蘭学事始』

Ⅲ 次の〔史料1〕～〔史料5〕を読み、後の問に答えなさい。

〔史料1〕 私共は隠されて仕舞つた我が太陽を今や取戻さねばならぬ。(中略) 女性の自由解放と云ふ声は随分久しい以前から私共の耳辺にざわめいてゐる。併しそれが何だらう。思ふに自由と云ひ、解放と云ふ意味が甚だしく誤解されてゐはしなかつたらうか。(中略) 私の希ふ真の自由解放とは何だらう。云ふ迄もなく潜める天才を、偉大なる潜在能力を十二分に發揮させることに外ならぬ。

〔史料2〕 普選の実施は、何といつても我が憲政史上、画期的の重要事である。国会開設に次いでの有意義な出来事で、民権發達史上、特筆大書さるべきである。不公平にして不道徳な制限選挙のために、折角立憲の聖代に生れながら、参政權利を拒絶されて、君民同治の恩沢に浴することの出来なかつた国民の大部分が、これによつて、いよいよその力を政治生活、社会生活の上に合理的に、合法的にのばし得ることになるのである。

〔史料3〕 人として此世に生れたからは自由がなければつまらない、幸福も安樂も自由がなければ得られない。皆さん卑屈することはない、自由は天から与えられたのじゃ。とんと民権を張り自由をお展べなさいよ。若し又自由が得られずとならば、寧ろ死んでおしまいなさい。自由がなければ生きても詮はありません。

〔史料4〕 **A** は人の上に人を造らずと云へり。されば **A** より人を生ずるには、万人は万人皆同じ位にして、生れながら貴賤上下の差別なく、万物の靈たる身と心との働きを以て天地の間にあるよろづの物を資り、以て衣食住の用を達し、自由自在、互に人の妨げをなさずして各安樂にこの世を渡らしめ給ふの趣旨なり。

〔史料5〕 [二月九日] 東京全市は十一日の憲法發布をひかえてその準備のため、言語に絶した騒ぎを演じている。到るところ、奉祝門、照明、行列の計画。だが、こっけいなことには、誰も憲法の内容をご存じないのだ。(中略)
[二月十六日] 日本憲法が發布された。もともと、国民に委ねられた自由なるものは、ほんのわずかである。しかしながら、不思議なことにも、以前は「奴隷化された」**B** の国民以上の自由を与えようとはしないといつて憤慨したあの新聞が、すべて満足の色を表しているのだ。

〔問〕

1 〔史料1〕の著者はだれか。一つ選べ。

- ア 市川房枝 イ 平塚らいてう ウ 伊藤野枝 エ 山川菊栄 オ 景山英子

2 〔史料1〕が掲載されたのはどれか。一つ選べ。

- ア 平民新聞 イ 妾の半生涯 ウ 自由新聞 エ 青鞥 オ 万朝報

- 3 [史料2] 下線部 a 「普選の実施」に関連して、適切なものはどれか。一つ選べ。
- ア 普選運動は関東大震災の後、労働運動の活発化につれて盛り上がった。
 イ 普通選挙法が成立したのは清浦奎吾内閣の時である。
 ウ 普通選挙法の成立で、有権者の数は6倍に増えた。
 エ 普選第1回総選挙では無産政党勢力からも当選者を出した。
 オ 田中義一内閣は非合法政党を取り締まるため、治安維持法を成立させた。
- 4 [史料2] 下線部 b 「制限選挙」に関連して、適切なものはどれか。二つ選べ。
- ア 貴族院議員は皇族議員、華族議員、勅任議員から構成されていた。
 イ 貴族院議員は名誉職的なもので、衆議院議員ほどの力を持たなかった。
 ウ 衆議院議員は当初、直接国税10円以上を納める男性から選ばれた。
 エ 衆議院議員の選挙権は25歳以上、被選挙権は30歳以上であった。
 オ 衆議院議員の任期は5年であった。
- 5 [史料3] は自由民権運動に大きな影響を与えた『民権自由論』の中の一節であるが、その著者はだれか。一つ選べ。
- ア 中江兆民 イ 河野広中 ウ 馬場辰猪 エ 大井憲太郎 オ 植木枝盛
- 6 [史料4] の **A** に入る最も適切な言葉はどれか。一つ選べ。
- ア 自然 イ 天 ウ 仏 エ 神 オ 上帝
- 7 [史料4] の出典はどれか。一つ選べ。
- ア 文明論之概略 イ 自由党史 ウ 学問のすゝめ エ 西国立志編 オ 自由之理
- 8 [史料5] の **B** に入る最も適切な国はどれか。一つ選べ。
- ア ドイツ イ アメリカ ウ ロシア エ イギリス オ フランス
- 9 [史料5] は政府に招かれ、東大で医学を教えていた人物の日記である。その人物はだれか。一つ選べ。
- ア ナウマン イ モース ウ グリフィス エ ベルツ オ ブスケ
- 10 [史料1] ~ [史料5] を年代順に並べた組み合わせとして適切なものはどれか。一つ選べ。
- ア [史料4] → [史料3] → [史料5] → [史料1] → [史料2]
 イ [史料3] → [史料5] → [史料4] → [史料1] → [史料2]
 ウ [史料1] → [史料2] → [史料3] → [史料4] → [史料5]
 エ [史料4] → [史料5] → [史料3] → [史料2] → [史料1]
 オ [史料2] → [史料5] → [史料3] → [史料1] → [史料4]

IV 次の英文を読んで、後の問に答えなさい。

Tense feeling undoubtedly existed between the Japanese and Chinese military forces. The Japanese, as was explained to ^(a)the Commission ..., had a carefully prepared plan to meet ... possible hostilities between themselves and the Chinese. On the night of September 18th-19th this plan was put into operation with swiftness and precision. The Chinese in accordance with their instructions ... had no plan of attacking the

Japanese troops, or of endangering the lives or property of Japanese nationals at this particular time or place. They made no concerted or authorized attack on the Japanese forces, and were surprised by the Japanese attack and subsequent operations.

An explosion undoubtedly occurred on or near the railroad between 10:00 P.M. and 10:30 P.M. on September 18th, but the damage, if any, to the railroad ... was not in itself sufficient to justify military action. The military operations of the Japanese troops during this night, ... cannot be regarded as a measure of legitimate self-defense. In saying this the Commission does not exclude the hypothesis that the officers on the spot may have thought they were acting in self-defense.

Source : Albert C. Ganley, *Japan : A Short History* (Wayside Publishing, 1989) p.204. Taken from League of Nations, *The Report of the Commission of Enquiry*, League of Nations Publication Number C.663. M320, 1932, VII, 71.

〔問〕

- 1 下線部 (a) の “the Commission” が、報告書を発表したときの日本の首相はだれか。一つ選べ。
ア 斎藤実 イ 高橋是清 ウ 犬養毅 エ 浜口雄幸 オ 近衛文麿
- 2 下線部 (b) の “the Japanese forces” の参謀であった人物が著した書物はどれか。一つ選べ。
ア 国体の本義 イ 日本国家改造法案大綱 ウ 大日本膨脹論 エ 満蒙問題私見 オ 国家の理想
- 3 上記英文で言及されている事件に直接関連しないのはどれか。一つ選べ。
ア 張学良 イ 南満州鉄道 ウ 第2次若槻礼次郎内閣 エ 吉林 オ 黒竜江
- 4 上記英文が公開された翌年、日本はどのような行動をとったか。一つ選べ。
ア ベルサイユ条約調印拒否 イ ミュンヘン協定調印 ウ 日英同盟破棄
エ 国際連盟脱退 オ 南京爆撃
- 5 上記英文で言及されている事件に関して、軍部に批判的立場をとった人物はだれか。一つ選べ。
ア 岸信介 イ 幣原喜重郎 ウ 田中義一 エ 南次郎 オ 浜口雄幸
- 6 上記英文で言及されている事件の後に起きたことはどれか。二つ選べ。
ア 金輸出解禁 イ ロンドン条約調印 ウ 上海事変 エ 張作霖爆殺事件 オ 満州国帝政実施
- 7 下線部 (c) の “the railroad” があった場所はどこか。一つ選べ。
ア 北京 イ 奉天 (瀋陽) ウ 大連 エ 新京 (長春) オ ハルビン
- 8 上記英文で言及されている事件に対する日本の閣議方針は次のどれか。一つ選べ。
ア 好機を逃がさず中国へ進出する方針
イ 国際連盟に理解を求める方針
ウ 不拡大方針
エ 独走した軍関係者を処罰する方針
オ 中国に秘密裏に賠償を打診する方針

9 上記英文文書作成の背景にはどのような働きかけがあったか。一つ選べ。

- ア 中華民国政府の提訴
- イ 日本政府の提訴
- ウ アメリカ合衆国の日本に対する自肅申し入れ
- エ ビルマやフィリピンからの要望
- オ 日本の左翼知識人からの強い抗議

10 上記英文で言及されている事件と同時期に生きていた人物はだれか。一つ選べ。

- ア 内村鑑三
- イ 大正天皇
- ウ 伊藤博文
- エ 小林多喜二
- オ 田山花袋

[以下余白]